

分野別認証評価機関に聞く!



学部や分野レベルでの内部質保証の留意点と参考にすべき取り組み

一般社団法人日本技術者教育認定機構 (JABEE) 会長
岸本 喜久雄

きしもとくお ● 1977年東京工業大学大学院理工学研究科機械物理工学修士課程修了。1982年同大学工学博士。1995年東京工業大学教授。同大学大学院理工学研究科工学系長・工学部長、副学長等を歴任。2023年より現職。

——JABEEの審査の特徴と実績は?

当機構は、大学や高等専の技術者教育プログラムを第三者の立場から審査・認定する評価機関で、ワシントン協定*2をはじめとする国際的な枠組みに加盟しています。国際的な認証制度に基づく第三者評価の結果を通じて、教育の質を世界に示せる点にJABEE認定の意義があります。

評価の対象は、工学(エンジニアリング)・農学・理学・情報・建築およびその関連分野の教育プログラムです【図表1】。2001年から2025年までの累計で529プログラムを認定。教育機関数は累計175機関、修了者数は累計約41万人に上ります【図表2】。

当機構の評価は、学修成果を重視するアウトカムベースであることが特徴です。学生が卒業時にどのような知識・能力を身に付けたかという学習・教育目標の達成度を重視しています。審査では、試験答案やレポートなども確認し、合格と不合格の境界に位置する学生の答案を比較することで、成績評価の妥当性を検証します。また、DPとの整合性も重視し、卒業判定会議における議論も資料や記録を確認しています。審査には大学教員だけでなく、産業界の専門人材も参加しています。

——これまでの審査を通しての課題は?

制度開始当初、ワシントン協定への参加に向けて厳格な審査体制を構築する必要があったことから、大学に対して多くの資料提出や細かな対応を求めています。そのため、「事務負担が大きい」「手続きが煩雑」といった声が上がりました。そこで2019年に、審査基準の小項目の削減や、審査結果の判定区分の簡素

化などの見直しを実施しました。2025年からは実地調査の日数を短縮し、Web面談を導入するなどしています。

——「新たな評価」移行の際、大学が留意すべき点は?

「新たな評価」では学部単位での内部質保証が重視されていますが、JABEE認定においても内部質保証は重要な評価項目です。何よりもアウトカムズ、つまり学部の学修成果の達成が重要です。教育目標・到達目標を明確にし、それを検証・改善するPDCAサイクルが、内部質保証のしくみとして整っているでしょうか。当機構の審査で言えば、JABEE認定が重視する「課題解決力」「社会責任」「倫理観」なども、学部レベルで具体的な学修成果として位置付けることが望まれます。学生や保護者、企業などのステークホルダーに対し、内部質保証のしくみや教学改善のプロセスをわかりやすく説明することが求められます。そのためにも、まずは学修成果の可視化を進めていただきたいと思います。

一方で、今後、調整が必要な認証評価制度間の連携といった課題もあります。「新たな評価」が重視する項目とJABEEの審査基準との対応関係を明確にするとともに、データや様式の共通化を進めていくことも重要です。ただし、「新たな評価」移行後も、JABEE認定の価値は変わりません。JABEEの審査は海外の大学と同等に見るべく、国際的な基準に基づいて実施されています。

——大学へのアドバイスは?

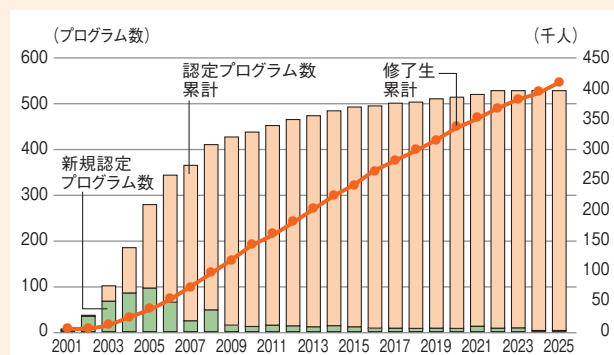
質保証体制を見直す際には、進んでいる海外の大学がカリキュラム改善や教育の質向上にどのように取り組んでいるのかを、あらためて学ぶとよいでしょう。その対象は欧米の大学に限りません。かつては日本より後発とみられていた国々の大学でも、質保証への取り組みを積極的に進めています。海外大学との連携を進める際には、相手大学がどのような質保証のしくみを構築しているのかを確認し、互いに学び合うことが有効だと考えます。

【図表1】JABEE認定分野

認定種別	認定分野
エンジニアリング系 学士課程	化学及び関連のエンジニアリング分野
	機械及び関連の工学分野
	材料及び関連の工学分野
	地球・資源及び関連のエンジニアリング分野
	電子情報通信・コンピュータ及び関連の工学分野
	電気・電子及び関連の工学分野
	土木及び関連の工学分野
	農業工学及び関連のエンジニアリング分野
	工学(融合複合・新領域)及び関連のエンジニアリング分野
	建築学・建築工学及び関連のエンジニアリング分野
エンジニアリング系 修士課程	物理・応用物理学及び関連のエンジニアリング分野
	経営工学及び関連のエンジニアリング分野
	農学一般及び関連のエンジニアリング分野
	森林及び関連のエンジニアリング分野
	環境工学及び関連のエンジニアリング分野
	生物工学及び関連のエンジニアリング分野
	CS(コンピュータ科学)分野
	DS(データサイエンス)分野
	IS(情報システム)分野
	IT・CSec(インフォメーションテクノロジー・サイバーセキュリティ)分野
情報専門系学士課程	情報一般分野
	建築設計・計画系分野

*【図表1】【図表2】JABEE提供資料を基にBetween編集部にて作成

【図表2】認定プログラム数と修了生数の累計



*2 技術者教育の実質的同等性を相互承認するための国際協定